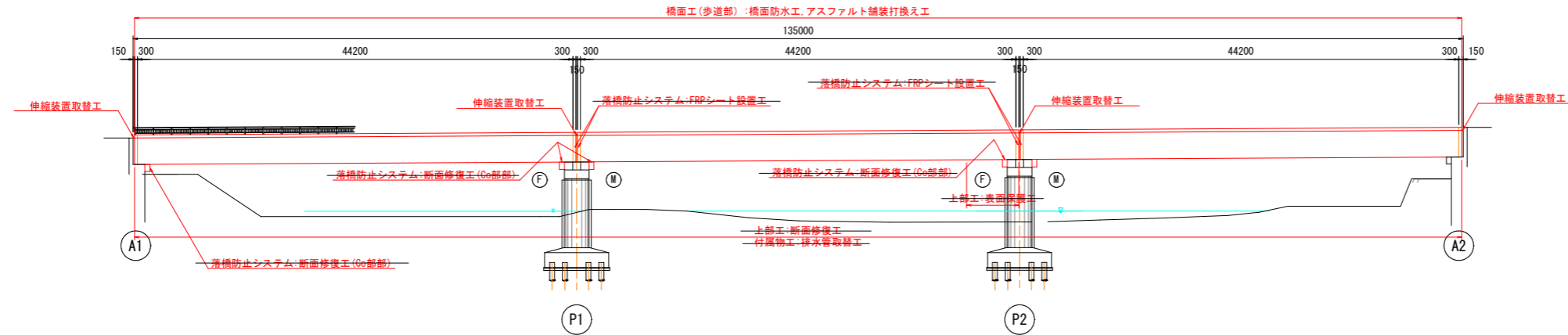
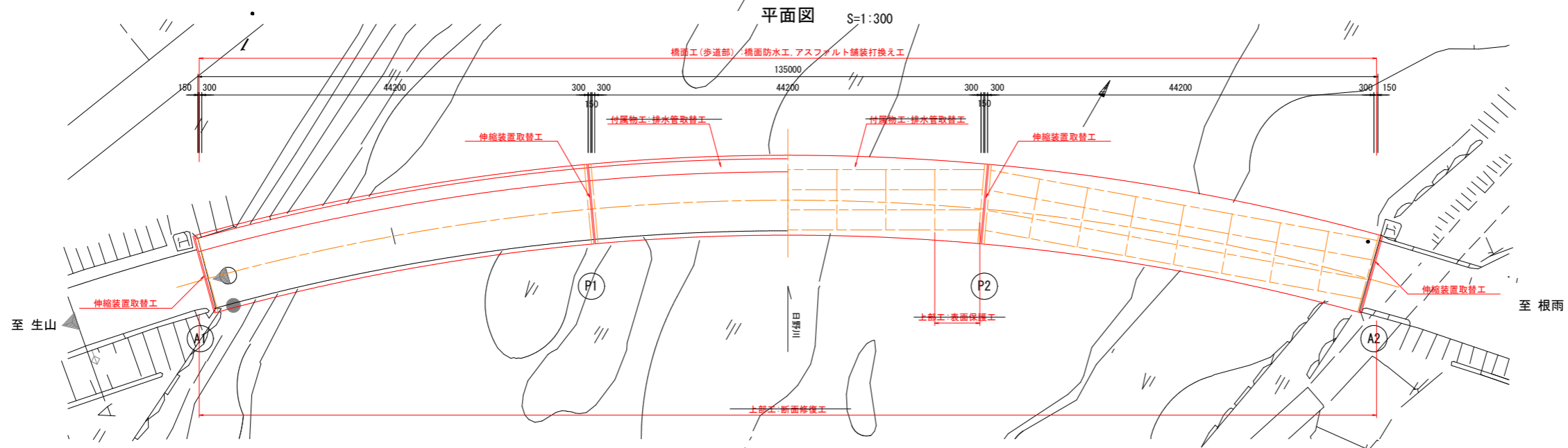


新黒坂橋 補修一般図 (その2)

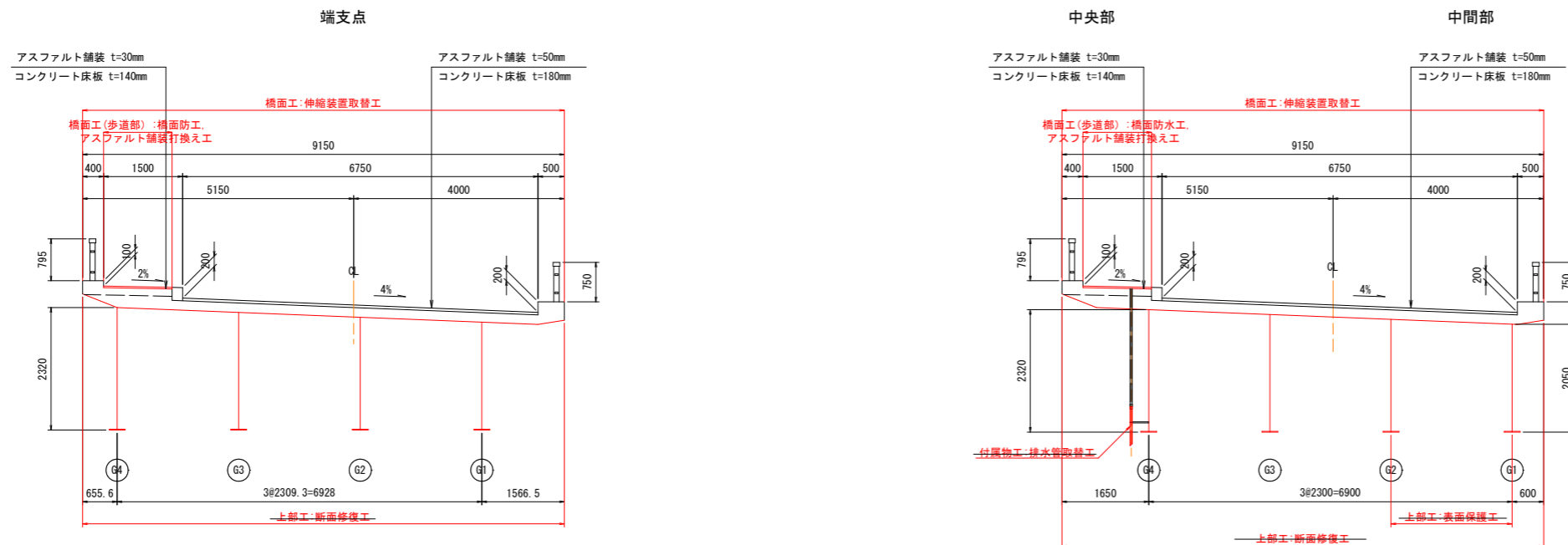
側面図 S=1:300



平面図 S=1:300



断面図 S=1:60



対策工法一覧表

- 路面切削工
- 橋面防水工
- アスファルト舗装打換え工
- 伸縮装置取替工
- 排水管取替工
- FRPシート設置工
- 断面修復工
- 表面保護工
- 仮設足場工

※ 本図面は、現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
 ※ 部材寸法は、施工前に現地を再確認のうえ、決定のこと。
 ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
 ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

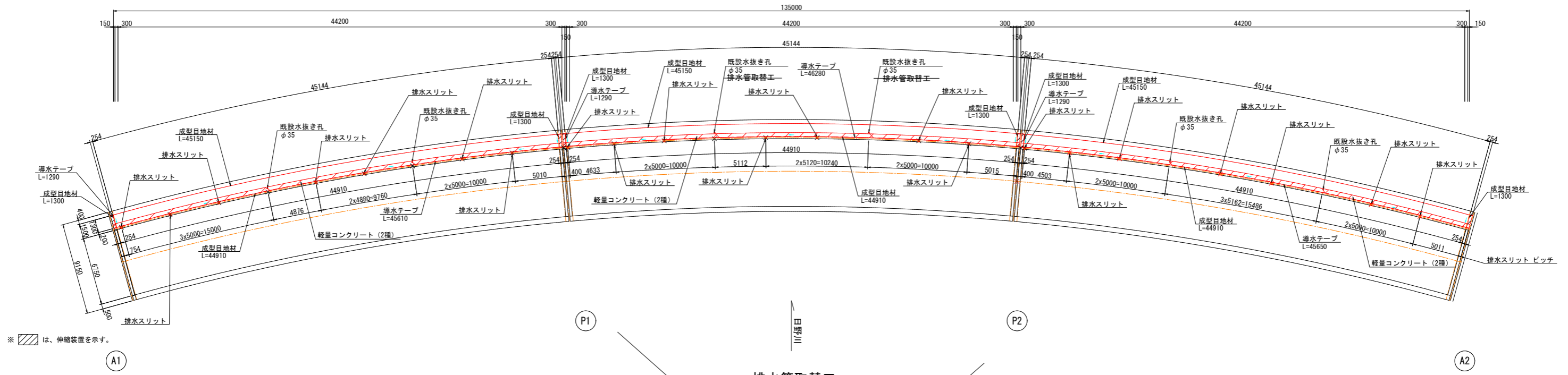
令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)(国補正)		
図名	新黒坂橋 補修一般図(その2)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 12 葉中の内 1		
	令和 6 年度施行		鳥取県
	西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局		

※A3出力時：表示縮尺×50%

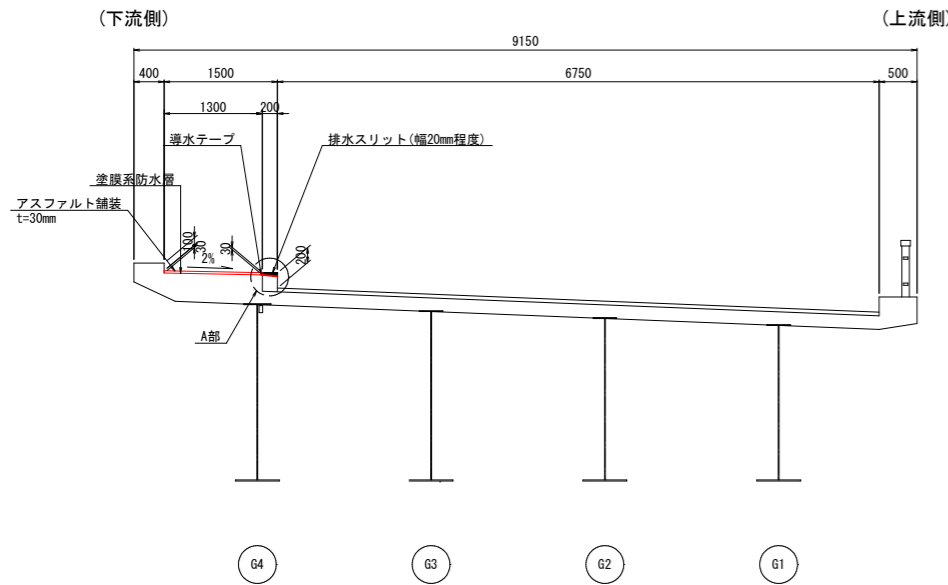
新黒坂橋 防水・排水工詳細図

平面図 S=1:200

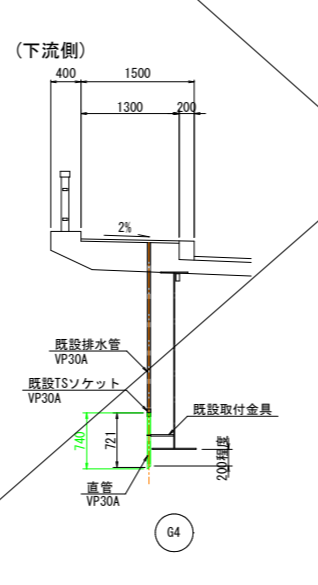


※ は、伸縮装置を示す。

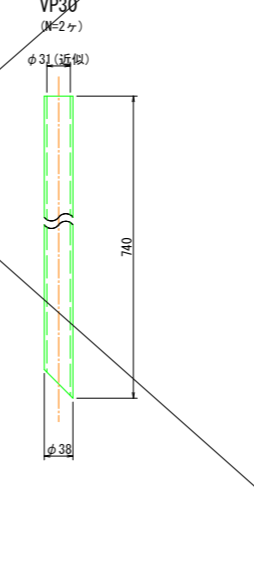
標準断面図 S=1:50



水抜き孔断面図 S=1:50



直管 S=1:5



舗装版破碎工数量表 (1橋当り)

名称	規格	単位	数量	備考
舗装版破碎	t=3cm	m ²	175.605	アスファルト舗装(歩道部)
搬運機(路面切削)	アスファルト盤	m ²	5.268	
処分	がれき類	m ³	5.268	

橋面防水工数量表 (1橋当り)

名称	規格	単位	数量	備考
橋面防水	塗膜系アスファルト加熱型防水層	m ²	175.605	
ドレン材	排水テープ 3×30	m	141.410	
目地工	成型目地材 b=30mm・t=5mm	m	277.980	
排水スリット工	幅20mm程度	箇所	21	
排水管取替工	VP30A	本	2	t=0.740×2=t.480 流心延長 t=t.442m

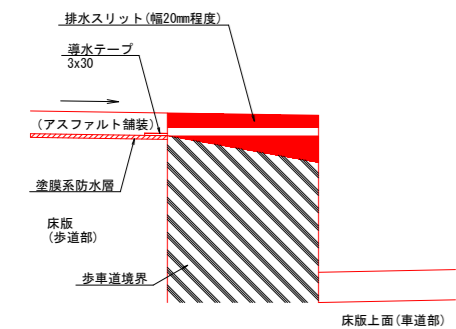
アスファルト舗装工数量表 (1橋当り)

名称	規格	単位	数量	備考
表層(歩道部)	再生密粒度As(13) t=3cm 瀝青材無し	m ²	175.605	平均幅員 1.3m

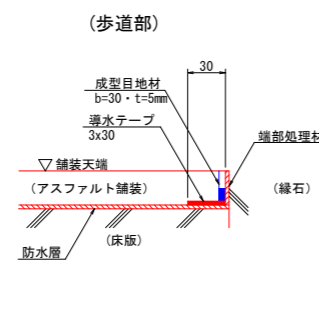
軽量コンクリート数量表 (1橋当り)

名称	規格	単位	数量	備考
軽量コンクリート	1種	m ³	9.139	g _{ok} =18N/mm ² , γ=1.85t/m ³ 高炉セメント W/C=60%以下(無筋コンクリート)

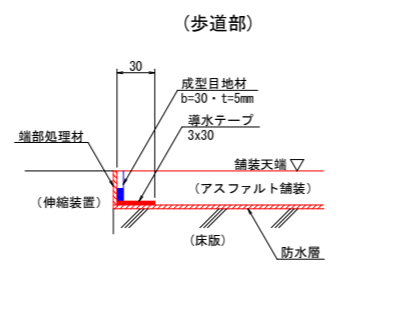
A部詳細 S=1:5



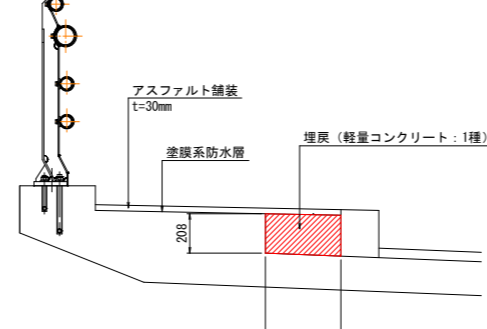
縦断排水部詳細図 S=1:3



横断排水部詳細図 S=1:3



軽量コンクリート断面図 S=1:20



令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)(国補正)	
図名	新黒坂橋 防水・排水工詳細図
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 12 葉中の内 2
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局	

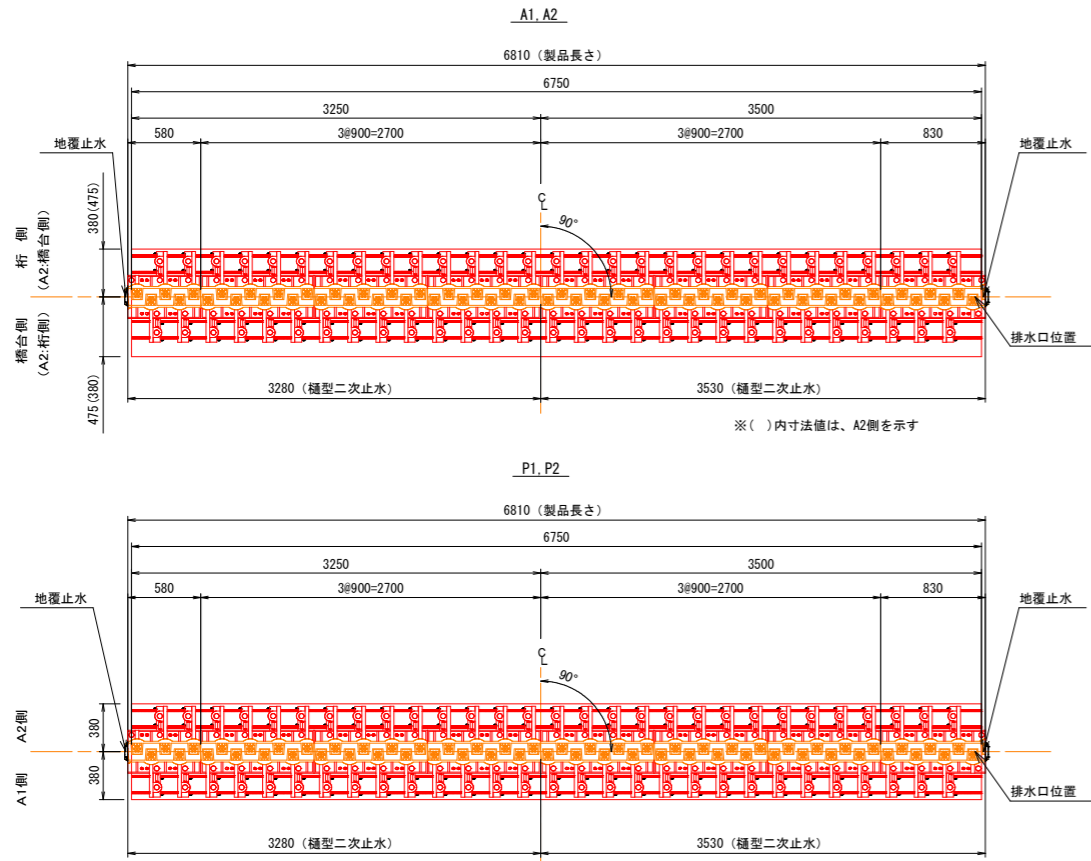
- ※ 本図面は、架橋時の設計図面を元に現地にて簡易な計測を行い、作成したものである。
- ※ 部材寸法は、施工前に現地に再確認のうえ、決定のこと。
- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。
- ※ 舗装版取壊しを行う際は、床版等を破損しないよう注意すること。
- ※ 既設舗装撤去後に床版上面に不陸が見られる場合は、モルタル等で不陸修正を行うこと。
- ※ 排水勾配が逆勾配となる箇所については、施工時に排水勾配を設けること。
- ※ 防水材塗布時は表面水分量10%以下とすること。
- ※ 防水材塗布は、気温5℃以下では施工しないこと。

※A3出力時：表示縮尺×50%

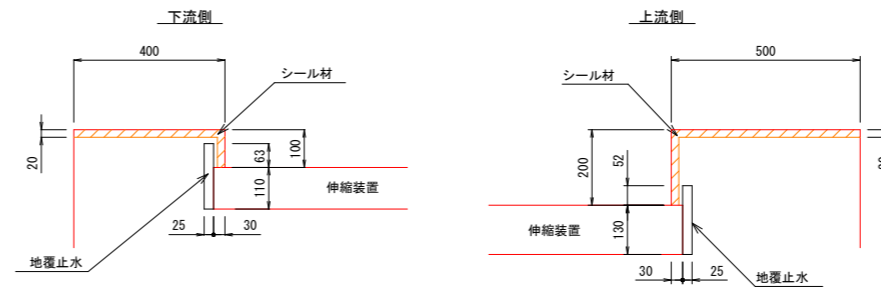
新黒坂橋 伸縮装置詳細図(1)

A1, A2, P1, P2(車道部)

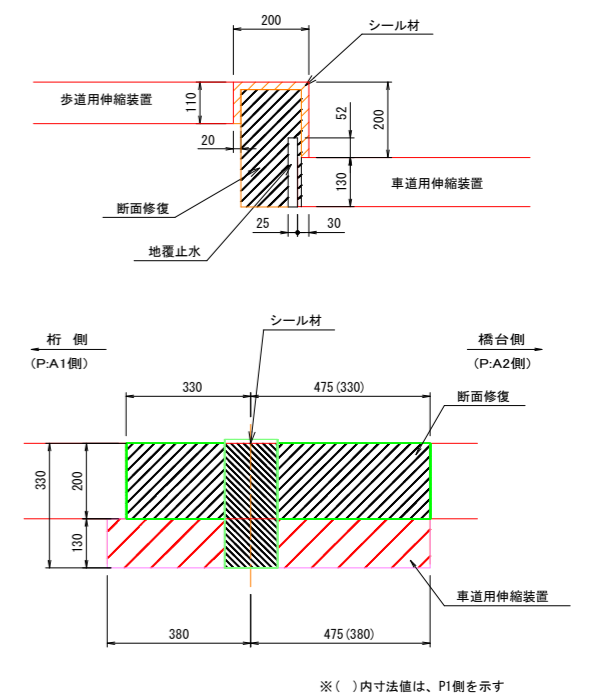
配置図 S=1:30



地覆部詳細図 S=1:10



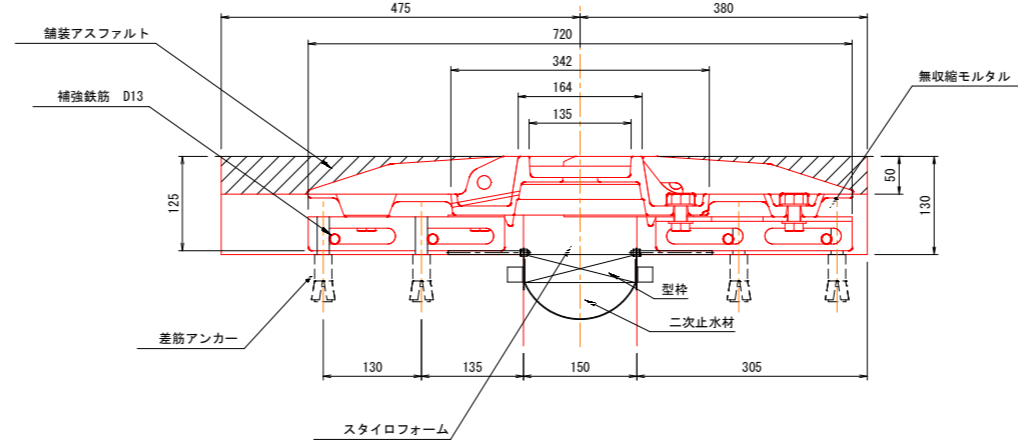
縁石部詳細図 S=1:10



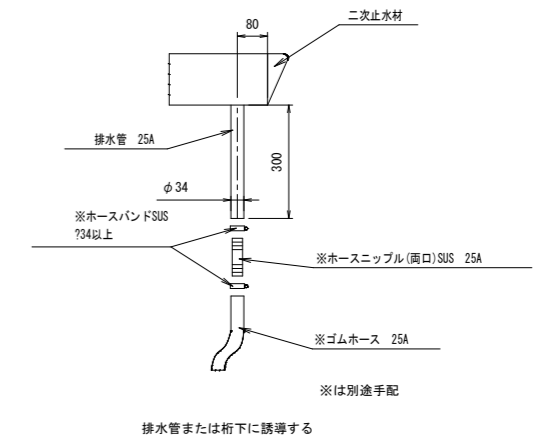
標準取付断面図 S=1:5

A1, A2

橋台側 桁側

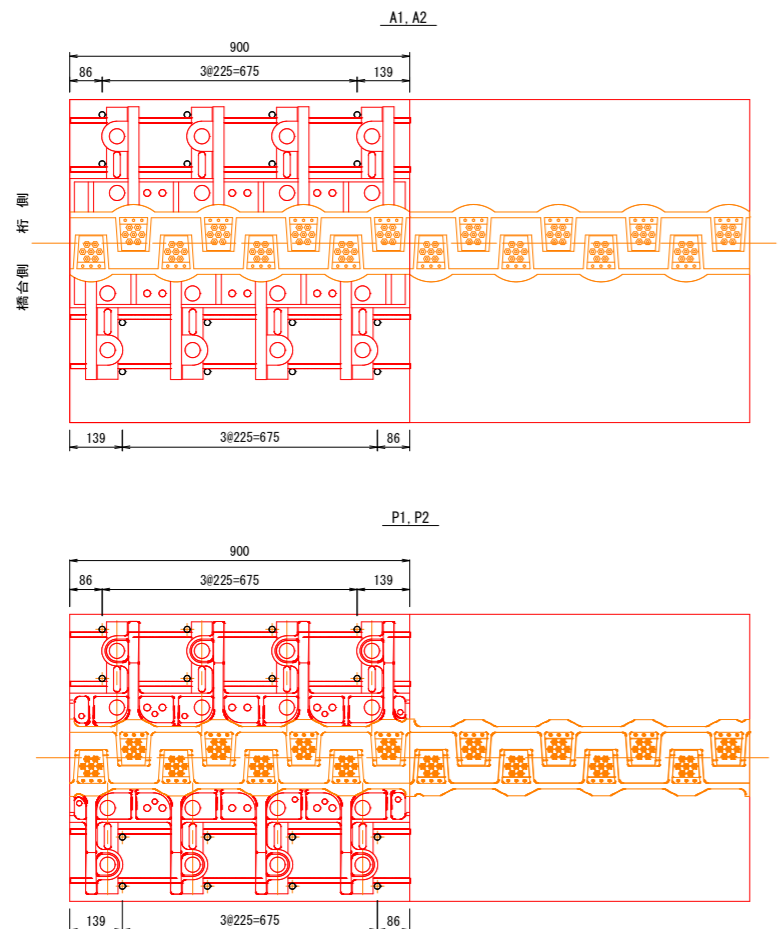


排水口詳細図 S=1:10



- (注)
1. 二次止水材排水口からの流束は、橋座面に滞水せぬよう排水ホースを取付(別途工事)し、誘導する事。
 2. 排水ホース・固定金具の取付は、足場設備(別途工事)にて行う事。
 3. 床版間隔が狭い場合は、排水パイプ設置に必要なスペースを確保する事。

標準取付平面図 S=1:10



【指示事項】

- ※ 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
- 表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。
- 伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。

令和6年度 公共 起工

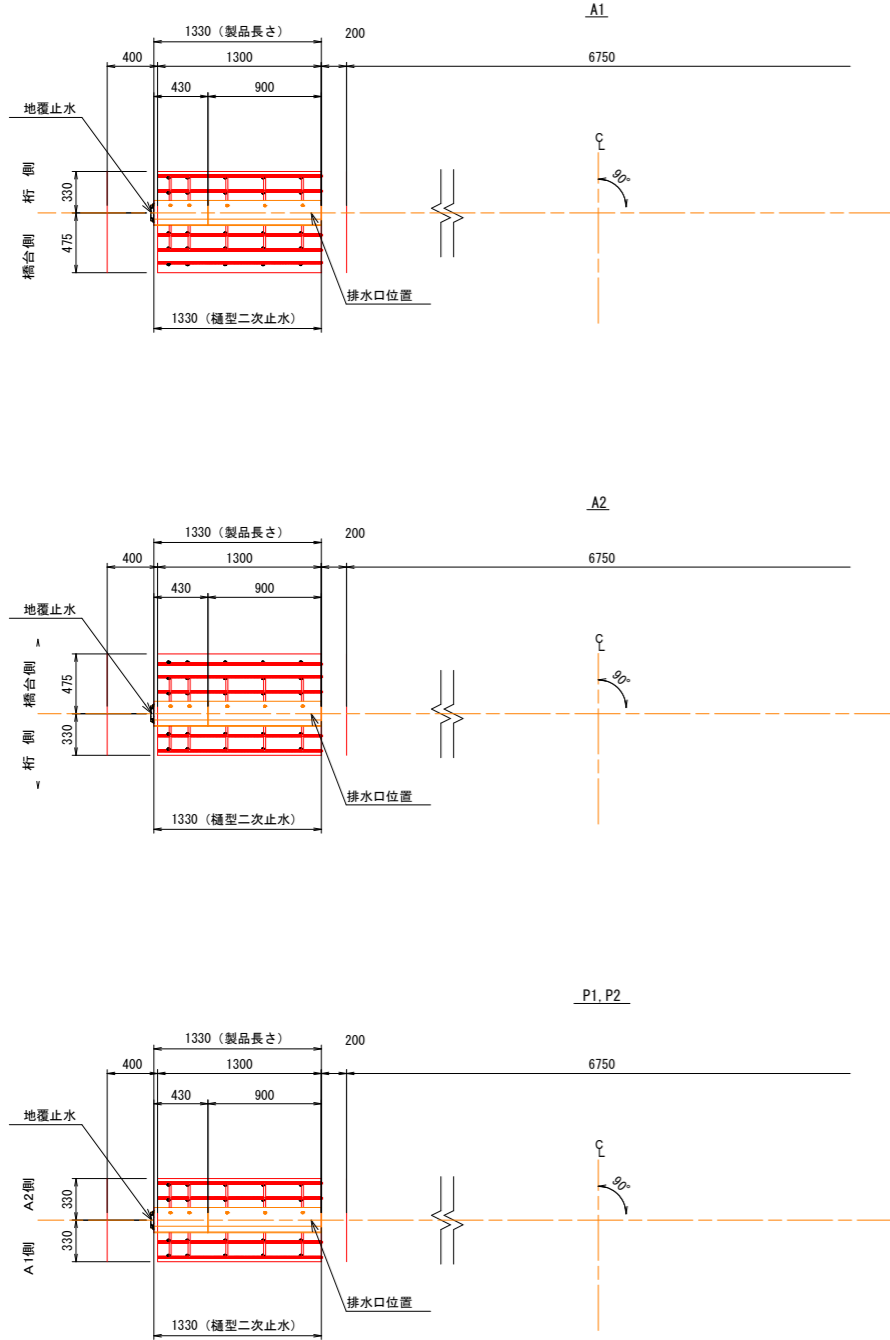
路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)(国補正)	
図名	新黒坂橋 伸縮装置詳細図(1)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 12 葉中の内 3
令和 6 年度施行 鳥取県	
西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時: 表示縮尺×50%

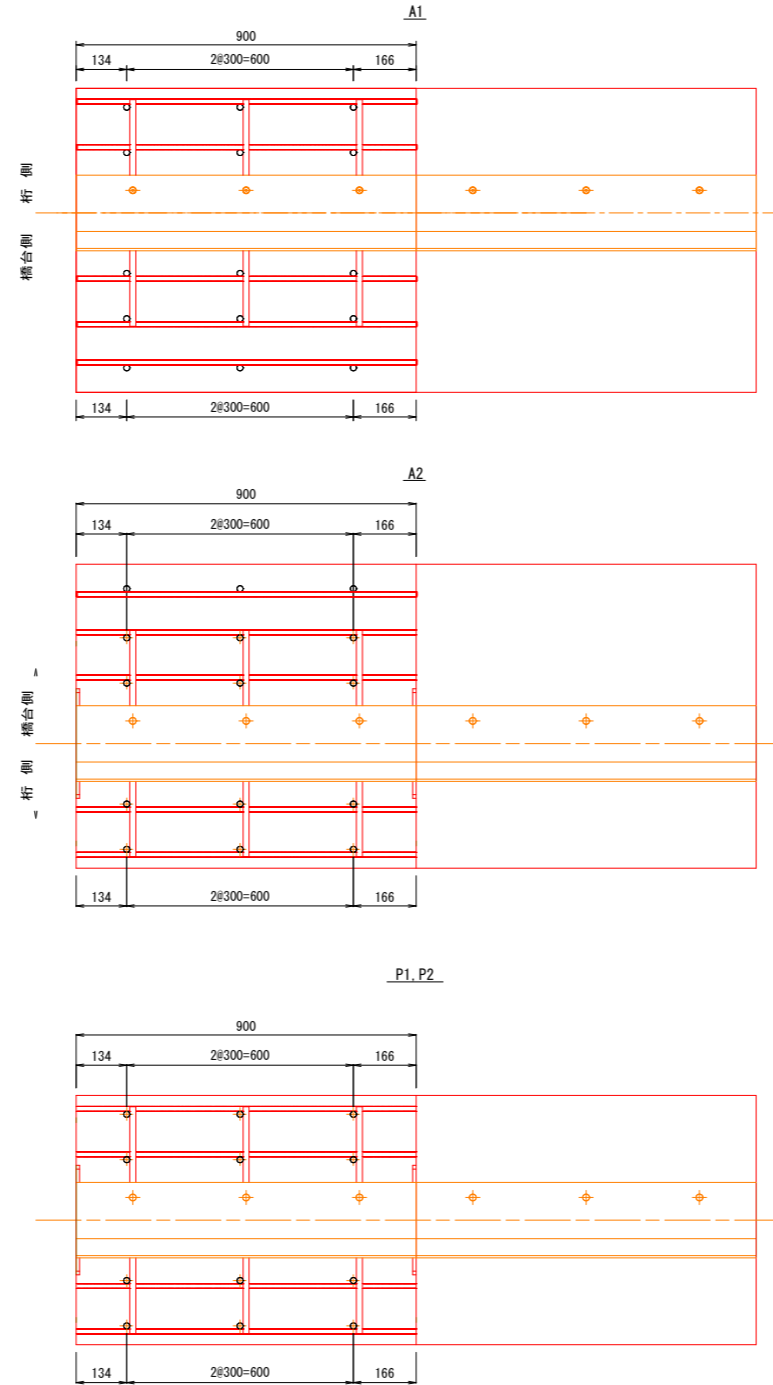
新黒坂橋 伸縮装置詳細図(2)

A1, A2, P1, P2(歩道部)

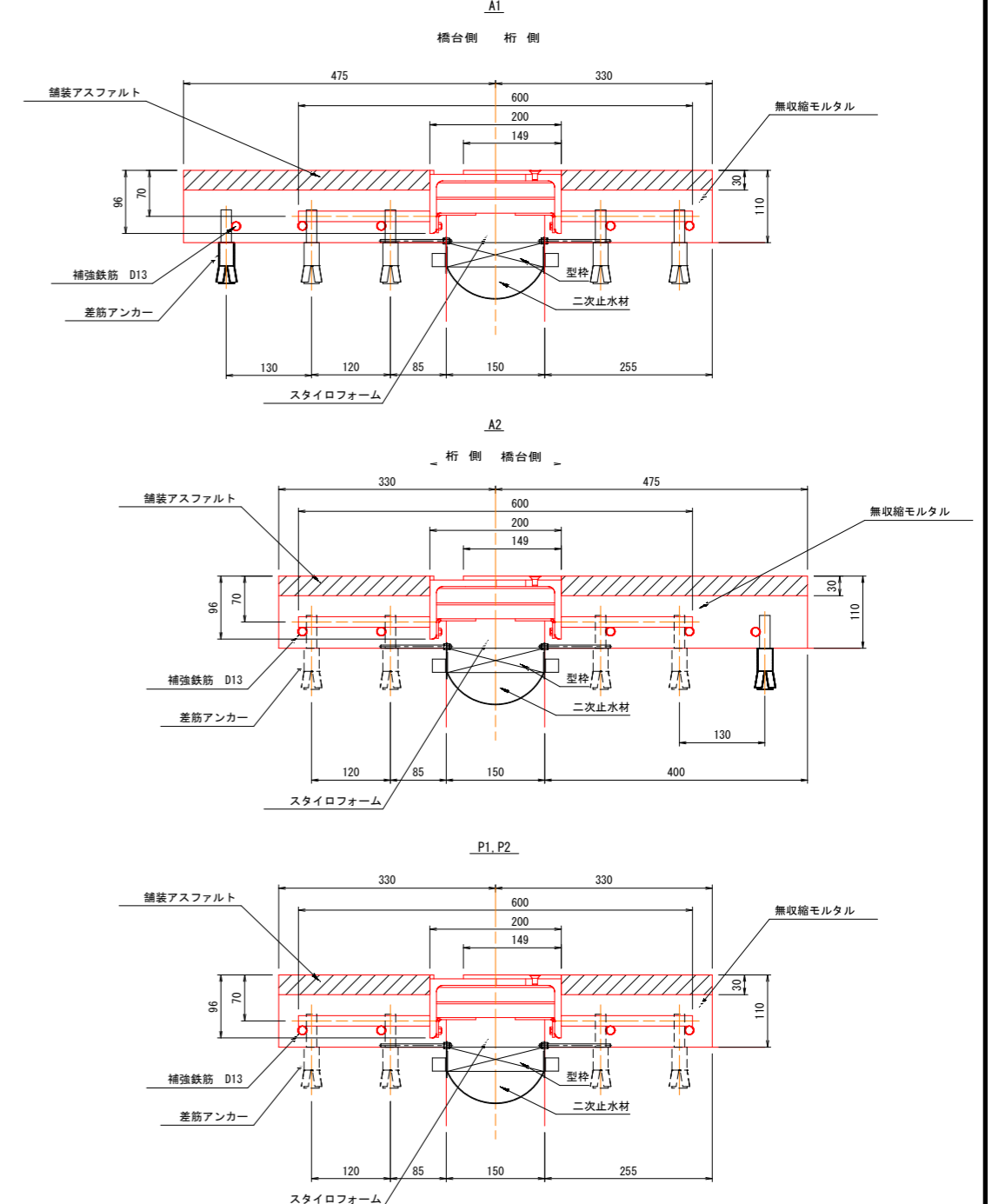
配置図 S=1:30



標準取付平面図 S=1:10



標準取付断面図 S=1:5



伸縮装置数量表

品名	仕様・規格	単位	A1		A2		P1		P2		合計	備考
			車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用	車道用	歩道用		
伸縮装置	HDJ-CVJ-R80 (性能・材料費) 同等以上	m	6.810	—	6.810	—	6.810	—	6.810	—	27.240	鉄製・荷重支持型(別途副資材必要)
地覆止水	HSJ-SW-R80 (性能・材料費) 同等以上	m	—	1.330	—	1.330	—	1.330	—	1.330	5.320	鋼製・歩道用(別途副資材必要)
二次止水(種型)	HDJ-JS B同等以上	個	2	1	2	1	2	1	2	1	12	止水高さ50mm用(別途副資材必要)
補強鉄筋	4-D13×6.75	kg	26.87	—	26.87	—	26.87	—	26.87	—	107.48	0.995kg/m
	5-D13×1.30	m	—	6.47	—	6.47	—	—	—	—	12.94	
	4-D13×1.30	m	—	—	—	—	—	5.17	—	5.17	10.34	
	計	m	26.87	6.47	26.87	6.47	26.87	5.17	26.87	5.17	130.76	
差筋アンカー	D16	本	116	25	116	25	116	20	116	20	554	
無収縮モルタル	σ _{ok} =24N/mm ² 以上	m ³	0.381	0.069	0.381	0.069	0.334	0.055	0.334	0.055	1.678	
断面修復材	地覆止水埋め込み部	m	0.008	0.004	0.008	0.004	0.007	0.003	0.007	0.003	0.044	
	縁石部	m	0.028	—	0.028	—	0.024	—	0.024	—	0.105	
アスファルト		m	0.238	0.024	0.238	0.024	0.204	0.019	0.204	0.019	0.970	
既設伸縮装置撤去	鋼製ジョイント	m	6.810	1.330	6.810	1.330	6.810	1.330	6.810	1.330	32.560	
殺菌剤	コンクリート構造物	m ³	0.624	0.096	0.624	0.096	0.540	0.075	0.540	0.075	2.669	
		m	0.624	0.096	0.624	0.096	0.540	0.075	0.540	0.075	2.669	
総取分	がれき類	t	1.467	0.225	1.467	0.225	1.269	0.175	1.269	0.175	6.272	

【指示事項】

※ 施工にあたっては、現場再測の上行うこと。その上で割付寸法の変更が必要となる場合は、発注者と協議を行い決定する。
表層材は無収縮モルタル硬化後に施工を行うこと。
伸縮装置本体の連結は、伸縮装置の施工手順書を参照すること。

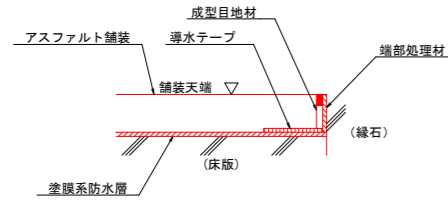
令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号
国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)(国補正)	
図名	新黒坂橋 伸縮装置詳細図(2)
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅
縮尺	図示 単位 mm
図号	全 12 葉中の内 4
令和 6 年度施行 鳥取県	
西部総合事務所 日野振興センター日野土整備局	

※A3出力時：表示縮尺×50%

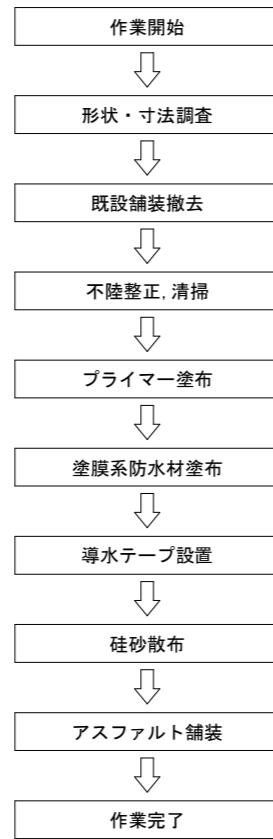
新黒坂橋 補修詳細図(2) (参考図)

橋面防水工 (参考図)

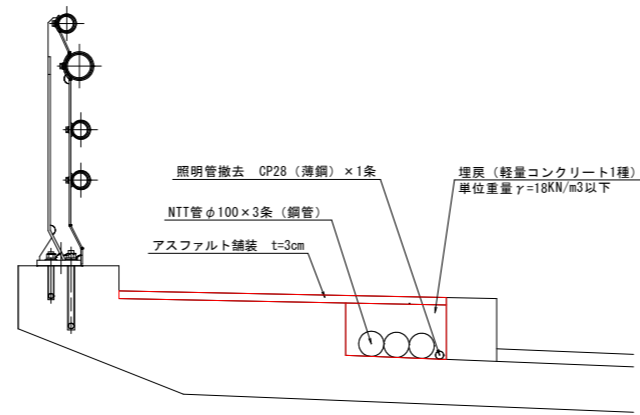


- ※ 舗装版取壊しを行う際は、床版等を破損しないよう注意すること。
- ※ コンクリートを削孔する際は、既設鉄筋に損傷を与えないように、事前に鉄筋探査を実施し削孔位置を決定すること。
- ※ 排水装置設置の際に主構造と干渉する場合は、排水装置位置を調整すること。
- ※ 既設舗装撤去後に床版上面に不陸が見られる場合は、モルタル等で不陸修正を行うこと。
- ※ 排水勾配が逆勾配となる箇所については、施工時に排水勾配を設けること。
- ※ 防水材塗布時は表面水分量10%以下とすること。
- ※ 防水材塗布は、気温5℃未満では施工しないこと。
- ※ 導水テープの流末処理については、既設排水樹を穿孔し、排水樹内に差し込むこと。

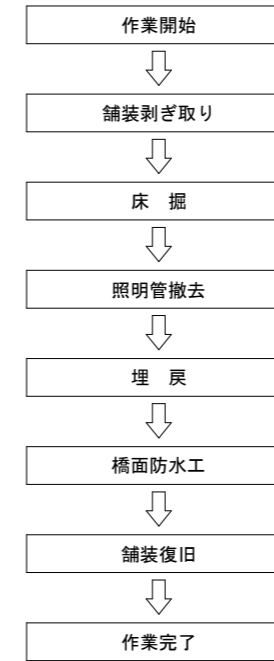
施工手順



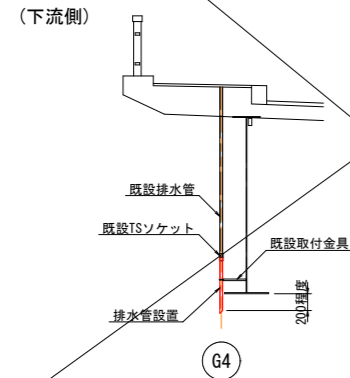
占用管部埋戻 (参考図)



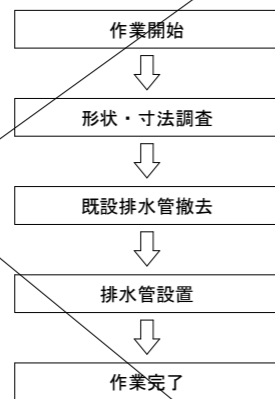
施工手順



排水管取替工 (参考図)



施工手順



- ※ 土砂堆積、植生、鳥の巣、ふん害等がある場合は、撤去を行うこと。
- ※ 取付金具やボルト等にゆるみ・脱落がある場合は、復旧を行うこと。

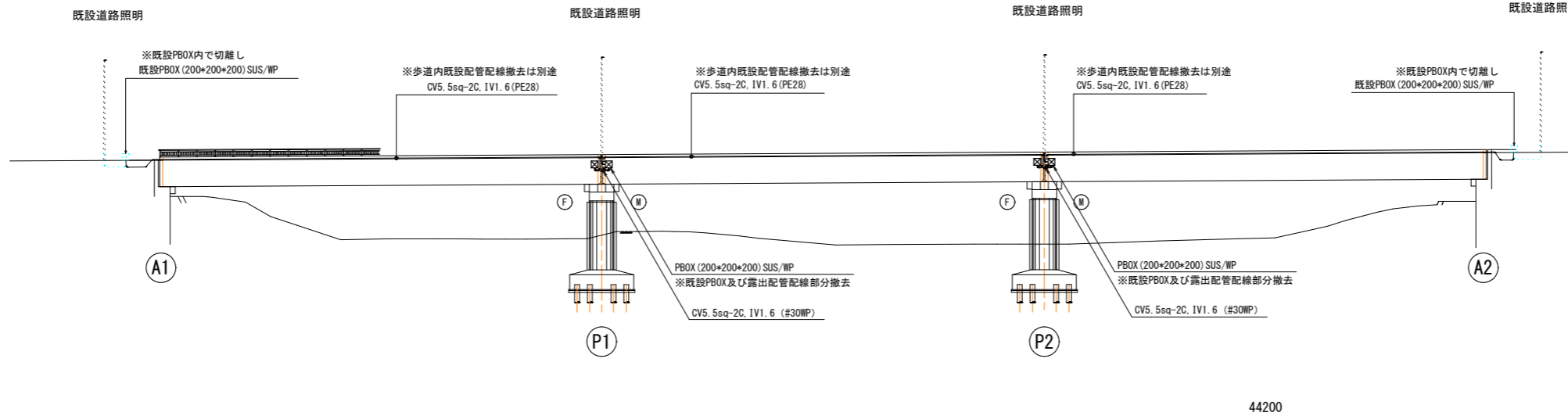
令和6年度 公共 起工

路線名	国道180号		
国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修) (国補正)			
図名	新黒坂橋 補修詳細図(2) (参考図)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 12 葉中	の内	5
令和 6 年度施行		鳥取県	
西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局			

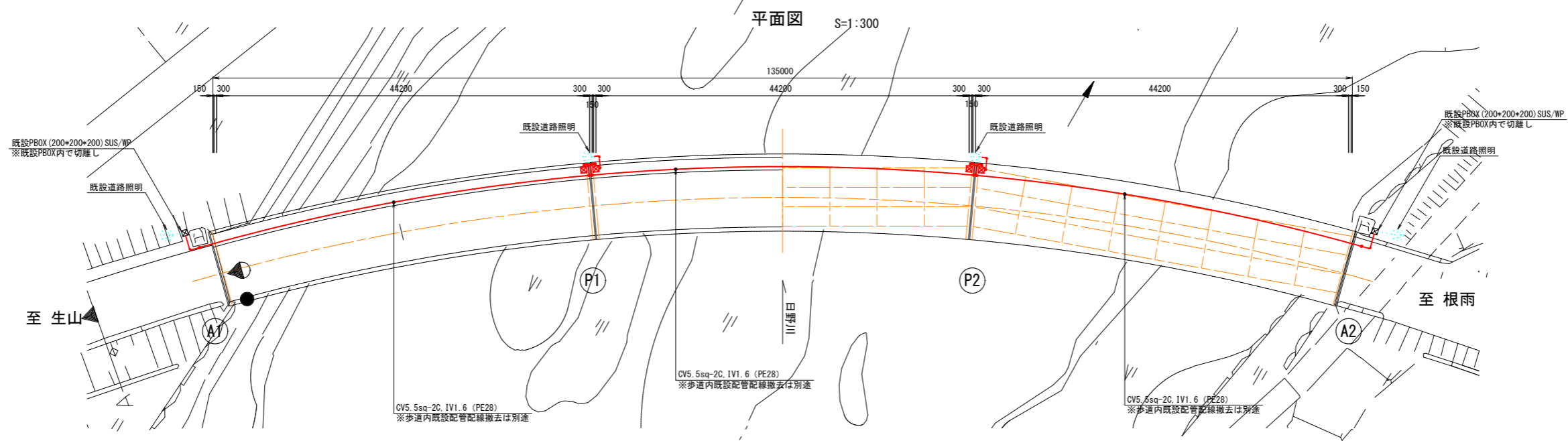
※A3出力時：表示縮尺×50%

新黒坂橋 既設配線撤去図 (参考図)

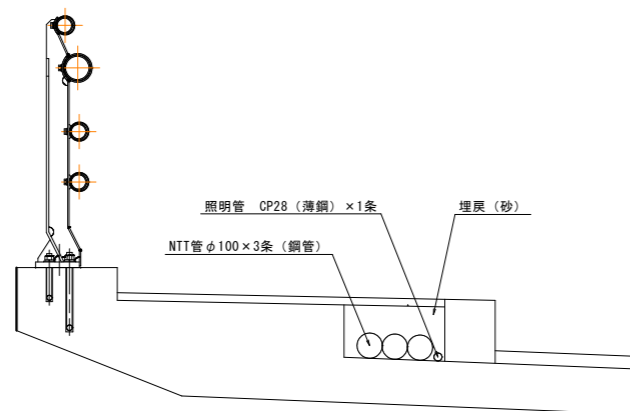
側面図 S=1:300



44200



断面図 S=1:15 (既設)



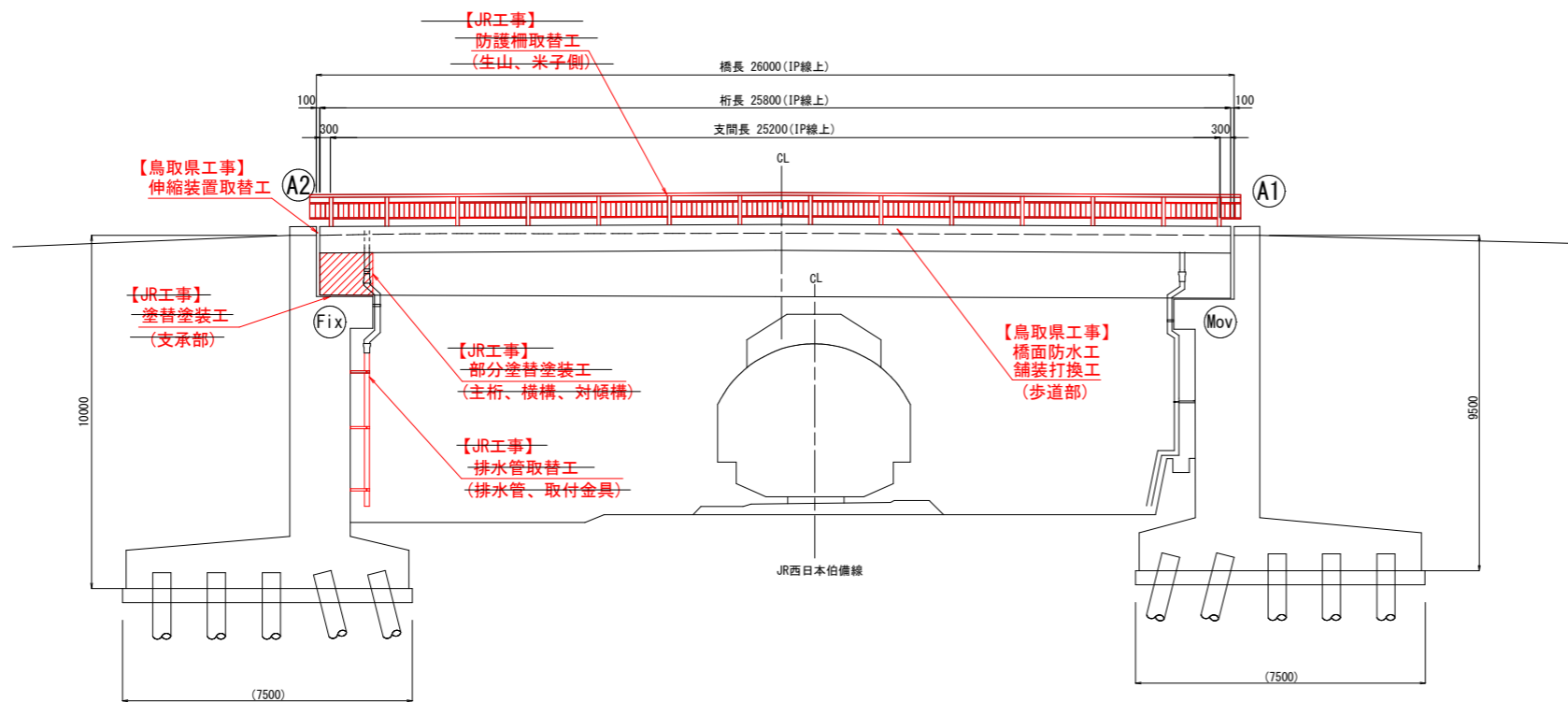
※・撤去図は、照明管を対象としている。
 ・NTT管については、応急対策（乾式止水材・簡易排水工）後、漏水により主要部材（主桁・支保）に劣化が見られた場合に地覆への返戻が必要。

令和6年度 公共 起工

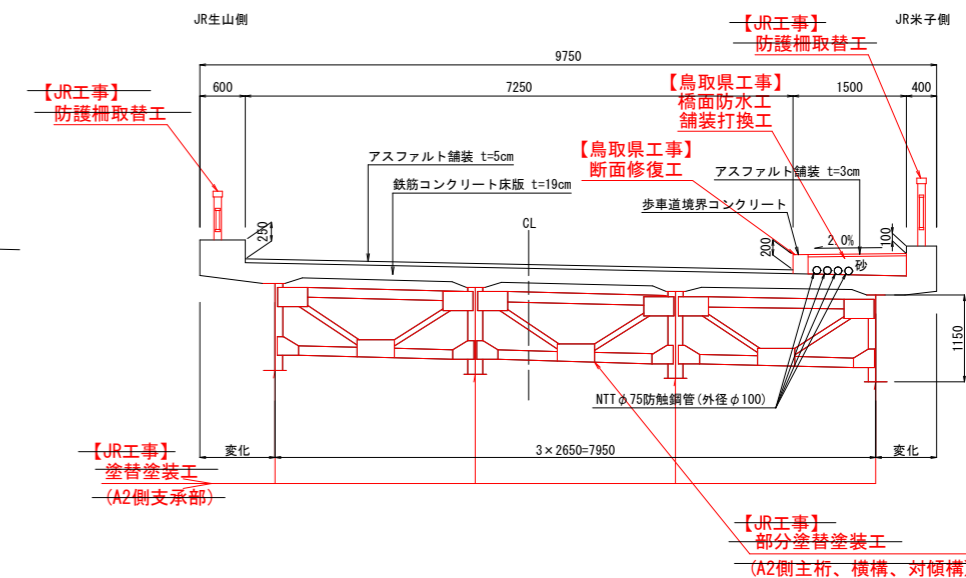
路線名	国道180号		
	国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)(国補正)		
図名	新黒坂橋 既設配線撤去図(参考図)		
位置	鳥取県日野郡日野町小河内~中菅		
縮尺	図示	単位	mm
図号	全 12 葉中の内 6		
	令和 6 年度施行	鳥取県	
	西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局		

補修概要図

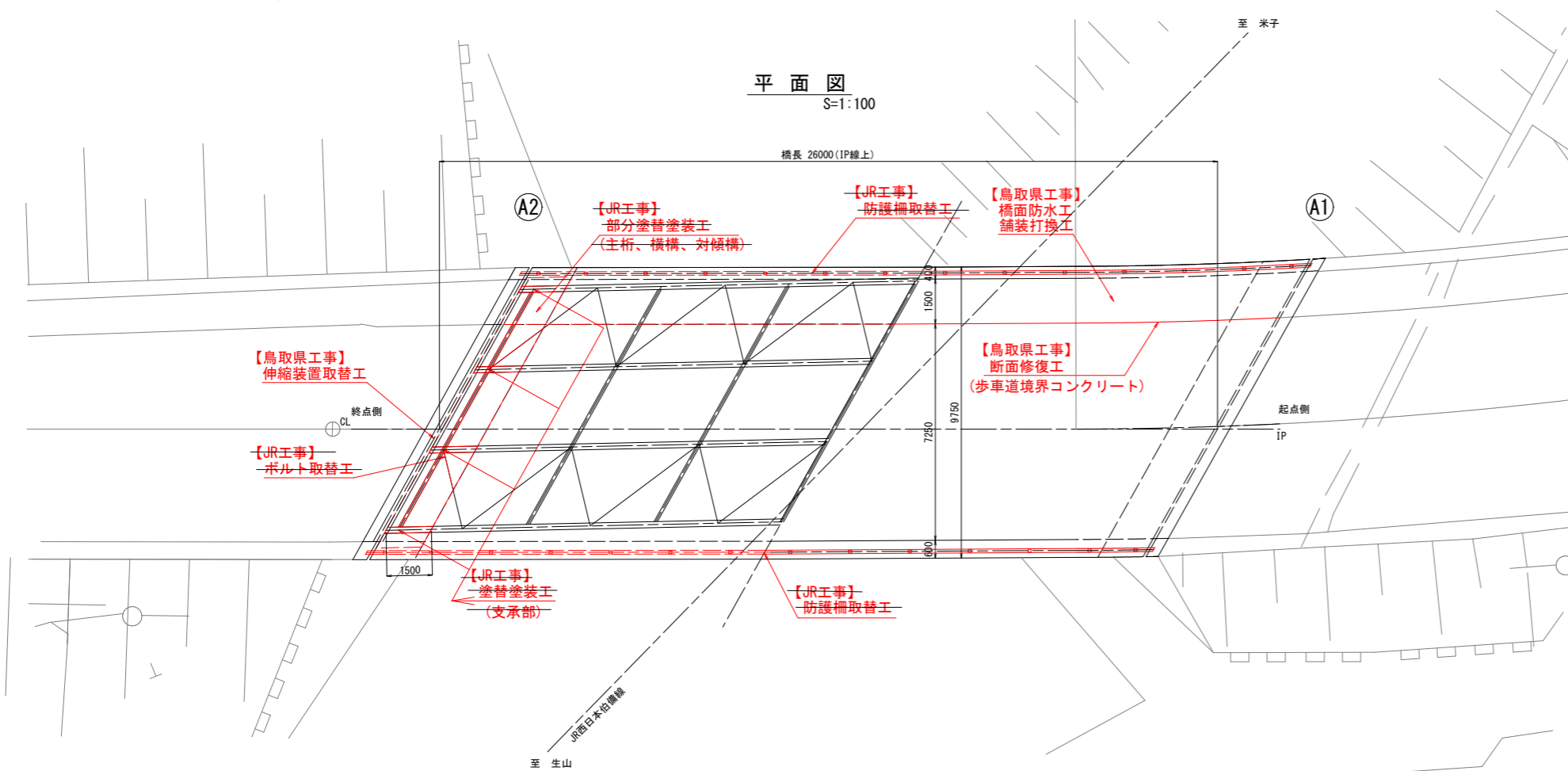
側面図
S=1:100



断面図
S=1:50



平面図
S=1:100



基本諸元

橋名	中管橋
路線名	一般国道 180号線
交差条件	JR西日本伯備線
橋長	26.000m(IP線上)
桁長	25.800m
支間長	25.200m
総幅員	9.750m
有効幅員	7.250m(車道)、1.500m(歩道)
斜角	左60°
活荷重	1等橋(TL-20)
雪荷重	Ws=1.0kN/m ²
横断勾配	2.0%山形~6.0%直線勾配(車道) 2.0%直線勾配(歩道)
縦断勾配	+4.0%~-2.20%縦断勾配
添架物	NTTφ75防触鋼管(外径φ100)
上部工形式	活荷重合成単純版桁橋
下部工形式	躯体 逆T式橋台 基礎 <基礎
適用基準	道示 1972
架設年次	昭和49年(竣工から46年経過)
補修履歴	不明

令和6年度 公共 起工

【中管橋】(鳥取県工事/JR工事)

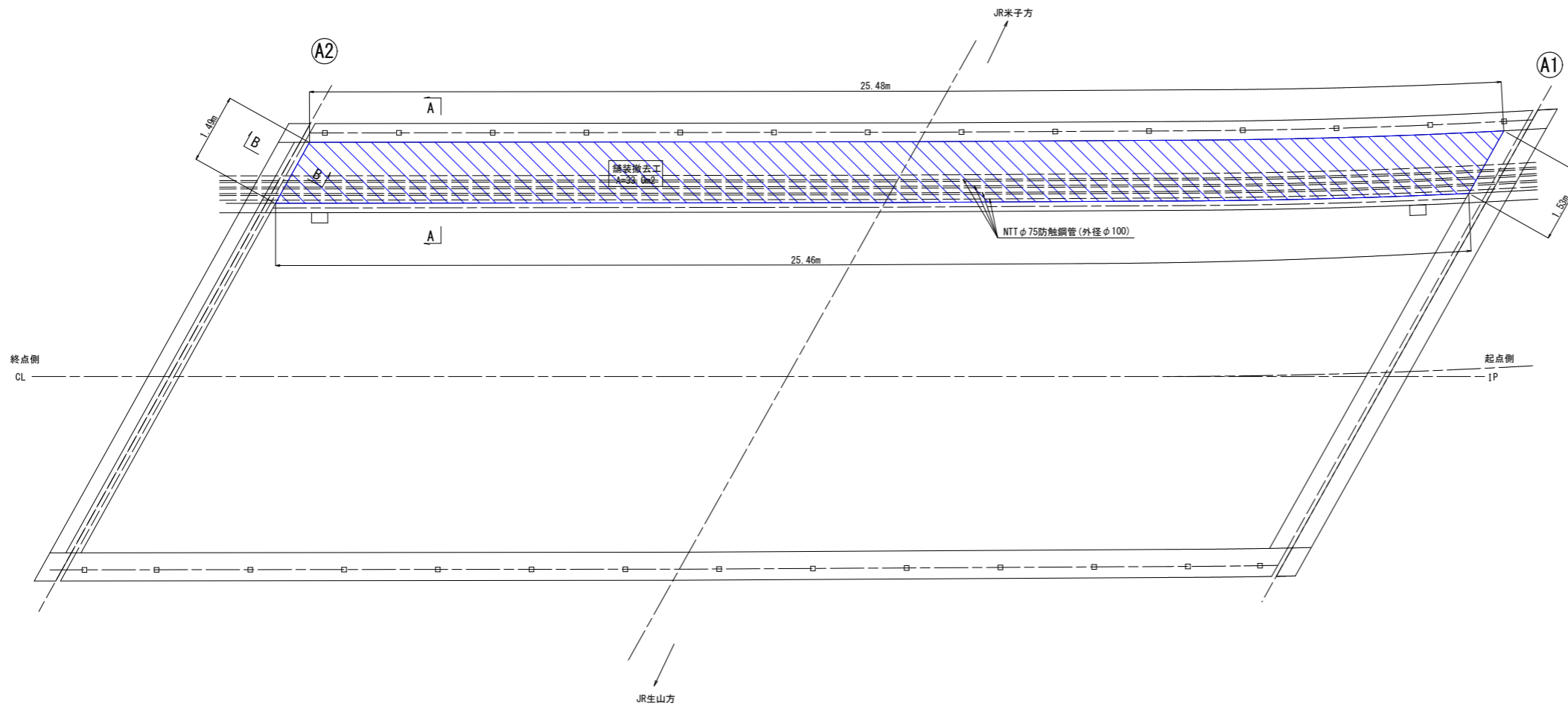
路線名	一般国道180号
国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)(国補正)	
図名	補修概要図
位置	鳥取県日野郡日野町中管
縮尺	図示 単位 MM
図号	全 12 葉中の内 7
令和 6 年度施行	鳥取県
西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局	

※A3出力時：表示縮尺×50%

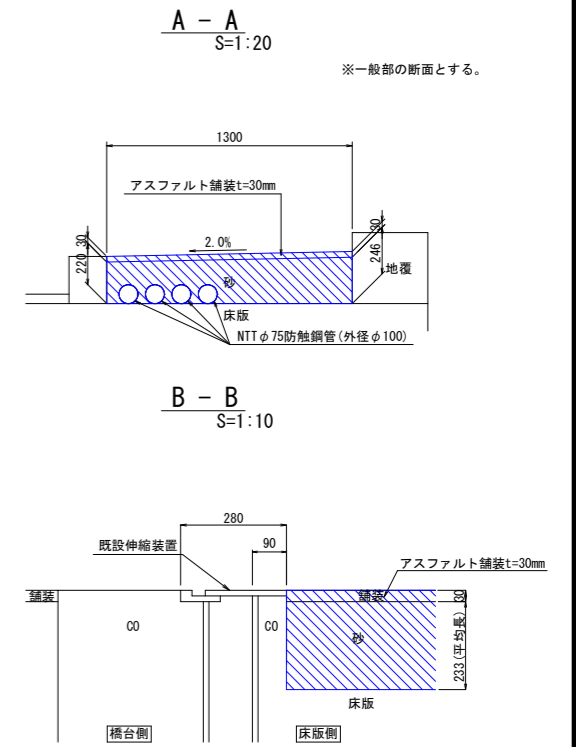
橋面補修図(その1)

(舗装撤去工)

平面図
S=1:60



舗装撤去工詳細図



注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状等を確認し、必要に応じて修正を行う事。
 ※歩道内のNTI埋設管については、施工時に位置及び深さ等を確認し、埋設管に損傷が生じないよう十分な施工管理を行うこと。
 ※補修工法については、各社さまざまなものがあり、仕様も異なるため、実際に採用する工法に従って、仕様の変更を行うこと。
 ※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確認できるよう養生管理等を行うこと。
 ※補修対象外の損傷は図示していない。
 ※橋面防水の施工に際し、伸縮装置の取替えとの取り合い部及び歩車道境界ブロックの補修の施工性の関係上、以下の手順で実施すること。
 ① 既設撤去工 (歩道舗装、伸縮装置)
 ② 舗装打換工 (中詰めコンクリート)
 ③ 伸縮装置取替工
 ④ 断面修復工
 ⑤ 橋面防水工
 ⑥ 舗装打換工 (アスファルト舗装)

数量表 (舗装打換工)

種別	規格	単位	数量	備考
舗装版破砕	アスファルト舗装 t=3cm	m ²	33.0	

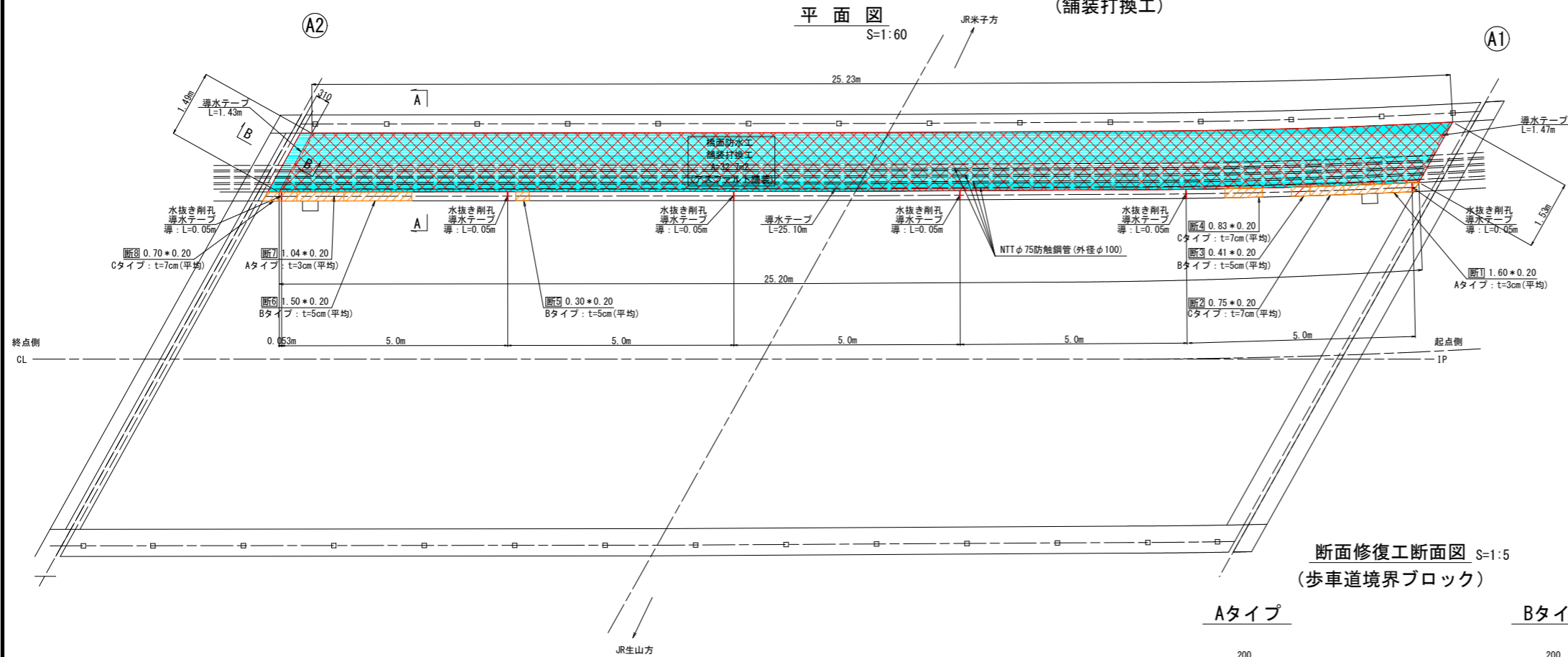
令和6年度 公共 起工
【中管橋】(鳥取県工事)

路線名	一般国道180号		
国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)(国補正)			
図名	橋面補修図(その1)		
位置	日野郡日野町中管		
縮尺	図示	単位	MM/M
図号	全 12 葉中の内 8		
令和6年度施行	鳥取県		
西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局			

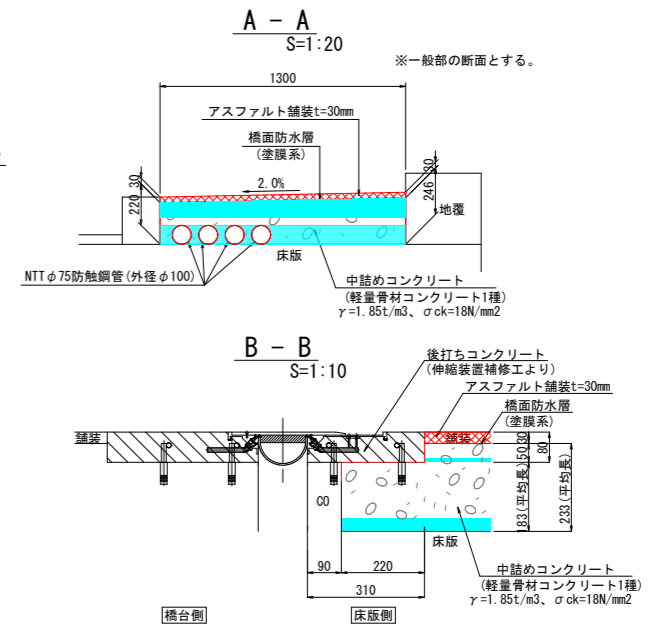
※A3出力時：表示縮尺×50%

橋面補修図(その2)

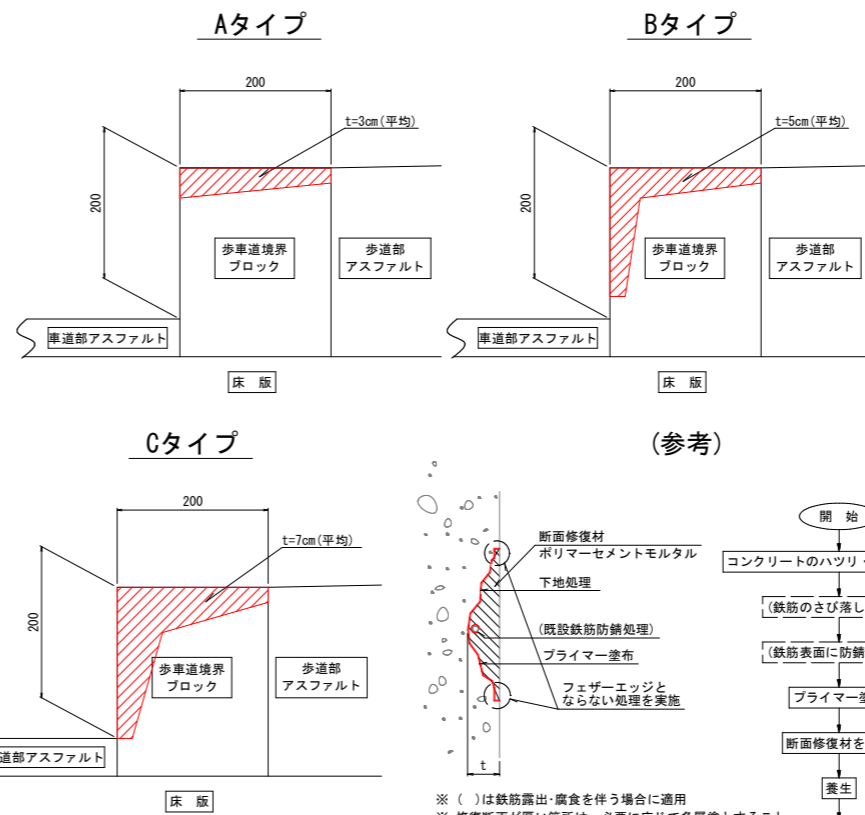
(舗装打換工)



中詰めコンクリート詳細図

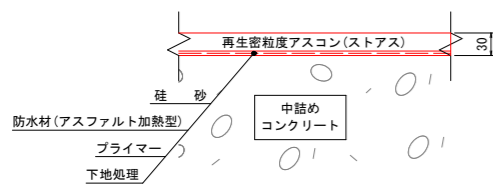


断面修復工断面図 S=1:5 (歩車道境界ブロック)



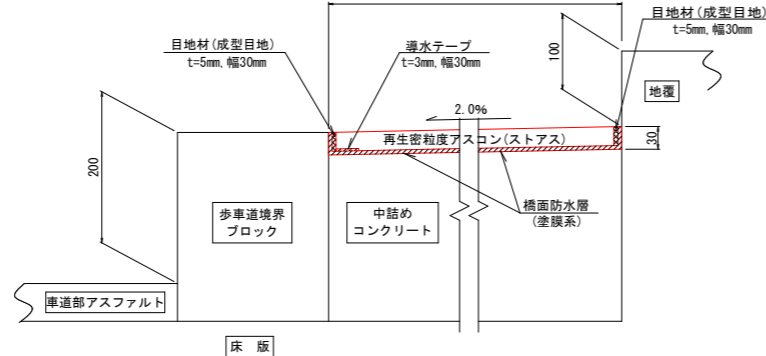
橋面防水工詳細図 S=1:5

歩道部

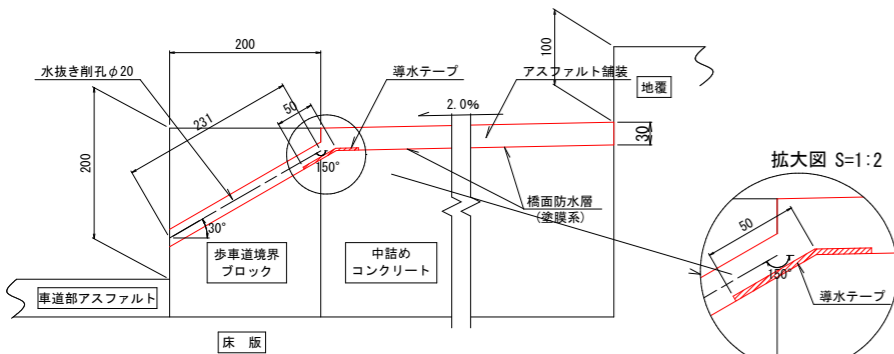


端部排水処理図 S=1:5

縦断方向



水抜き削孔詳細図 S=1:5



数量表 (断面修復工)

種別	規格	単位	数量	備考
断面修復	ポリマーセメントモルタル	m ³	0.07	

数量表 (断面修復)

番号	幅(m)	長さ(m)	面積(m ²)	深さ(m)	体積(m ³)
1	1.60	0.20	0.320	0.03	0.0096
2	0.75	0.20	0.150	0.07	0.0105
3	0.41	0.20	0.082	0.05	0.0041
4	0.83	0.20	0.166	0.07	0.0116
5	0.30	0.20	0.060	0.05	0.0030
6	1.50	0.20	0.300	0.05	0.0150
7	1.04	0.20	0.208	0.03	0.0062
8	0.70	0.20	0.140	0.07	0.0098
合計					0.07

数量表 (舗装打換工)

種別	規格	単位	数量	備考
表層	再生密度度73コン(ｽ17ｽ), t=3cm	m ²	32.7	
目地材(成形目地)	t=5mm, 幅30mm	m	53.5	
中詰めコンクリート	軽量骨材コンクリート1種 γ=1.85t/m ³ , σ _{ck} =18N/mm ²	m ³	6.9	

数量表 (橋面防水工)

種別	規格	単位	数量	備考
橋面防水	塗膜系防水層	m ²	32.7	
導水テープ	t=3mm, 幅30mm	m	28.3	
水抜き削孔	φ20mm×231mm	箇所	6	

凡例

表記	変状区分	補修方法	表記	区分
	欠損	断面修復工 断面幅×縦(mm)		アスファルト舗装 t=30mm
				中詰めコンクリート1種 γ=1.85t/m ³ σ _{ck} =18N/mm ² W/C=60%以下(無筋ｺﾝｸﾘｰﾄ)

令和6年度 公共 起工

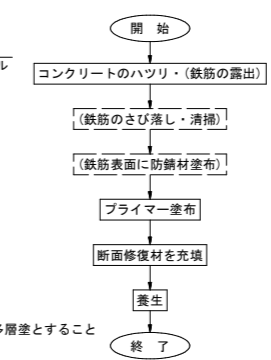
路線名	一般国道180号		
国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)(国補正)			
図名	橋面補修図(その2)		
位置	日野郡日野町中管		
縮尺	図示	単位	MM/M
図号	全 12 葉中の内 9		
令和 6 年度施行		鳥取県	
西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時: 表示縮尺×50%

注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状等を確認し、必要に応じて修正を行う事。
 ※歩道内のNTT埋設管については、施工時に位置及び深さ等を確認し、埋設管に損傷が生じないよう十分な施工管理を行うこと。
 ※補修工法については、各社さまざまなものがあり、仕様も異なるため、実際に採用する工法に従って、仕様の変更を行うこと。
 ※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可塑時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確保できるような養生管理を行うこと。
 ※補修対象外の損傷は図示していない。

注) ※橋面防水の施工に際し、伸縮装置の取替えとの取り合い部及び歩車道境界ブロックの補修の施工性の関係上、以下の手順で実施すること。
 ① 既設撤去工 (歩道舗装、伸縮装置)
 ② 舗装打換工 (中詰めコンクリート)
 ③ 伸縮装置取替工
 ④ 断面修復工
 ⑤ 橋面防水工
 ⑥ 舗装打換工 (アスファルト舗装)

※ () は鉄筋露出・腐食を伴う場合に適用
 ※ 修復断面が厚い箇所は、必要に応じて多層塗とする
 ※ 脆弱な部分は、はつり落すこと

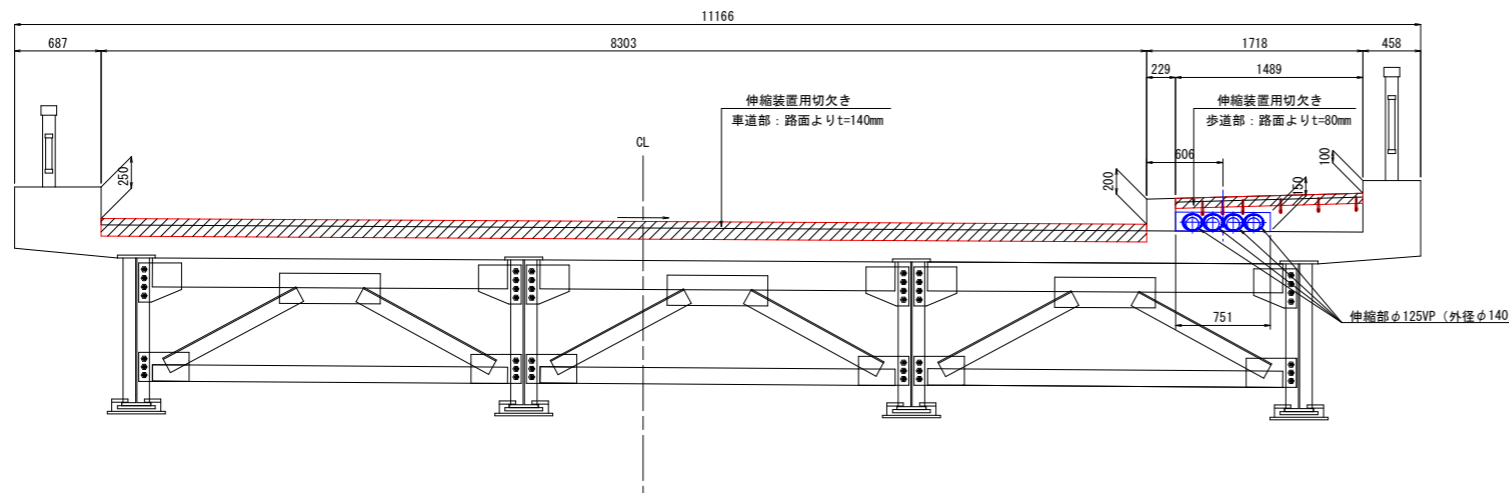


伸縮装置補修図(その1)

(A2伸縮装置)

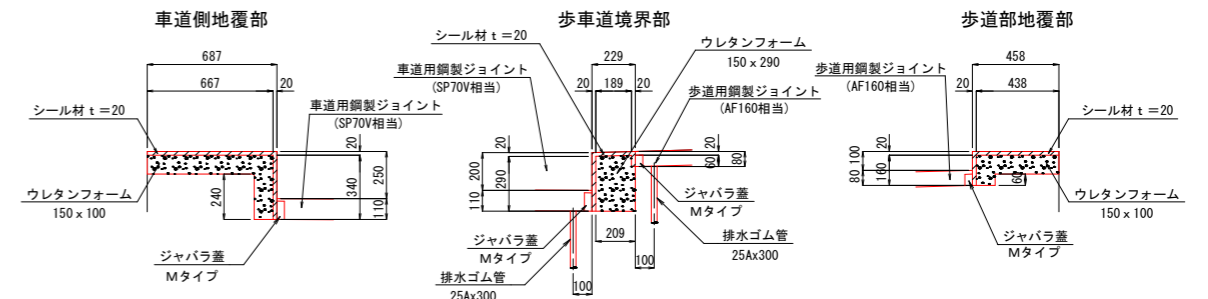
横断面図

S=1:30



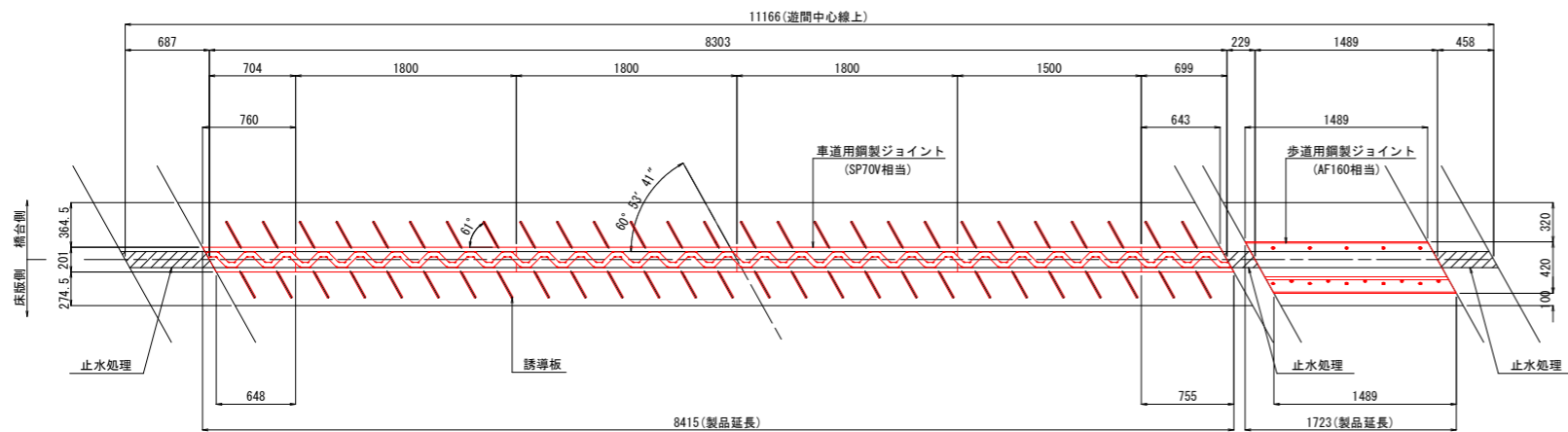
止水処理図

S=1:20



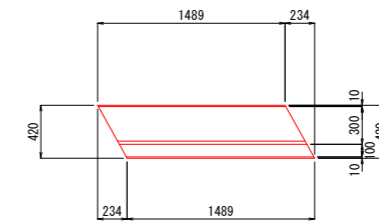
平面配置図

S=1:30



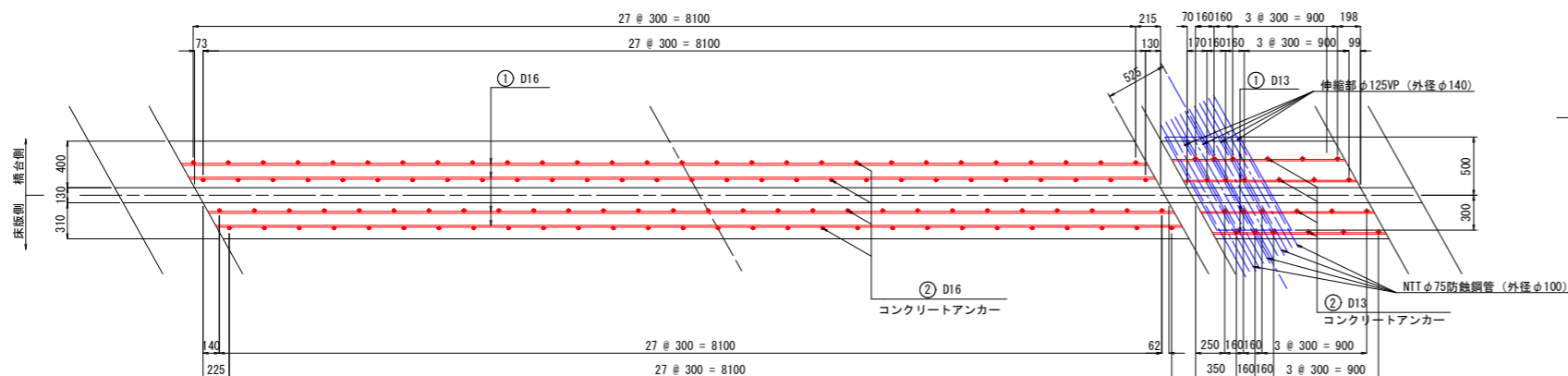
歩道用鋼製ジョイント平面図

S=1:30



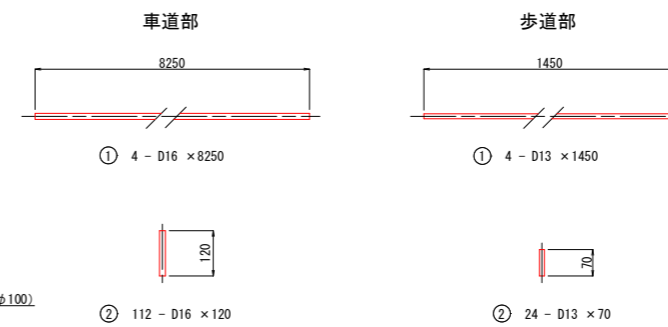
平面配筋図

S=1:30



補強鉄筋加工図

S=1:10



注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状等を確認し、必要に応じて修正を行う事。
 ※歩道内のNTT埋設管については、施工時に位置及び深さ等を確認し、埋設管に損傷が生じないよう十分な施工管理を行うこと。
 ※補修工法については、各社さまざまなものがあり、仕様も異なるため、実際に採用する工法に従って、仕様の変更を行うこと。
 ※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確保できるような養生管理等を行うこと。
 ※補修対象外の損傷は図示していない。
 ※橋面防水の施工に際し、伸縮装置の取替えとの取り合い部及び歩車道境界ブロックの補修の施工性の関係上、以下の手順で実施すること。
 ① 既設撤去工 (歩道舗装、伸縮装置)
 ② 舗装打換工 (中詰めコンクリート)
 ③ 伸縮装置取替工
 ④ 断面修復工
 ⑤ 橋面防水工
 ⑥ 舗装打換工 (アスファルト舗装)

令和6年度 公共 起工
 【中管橋】(鳥取県工事)

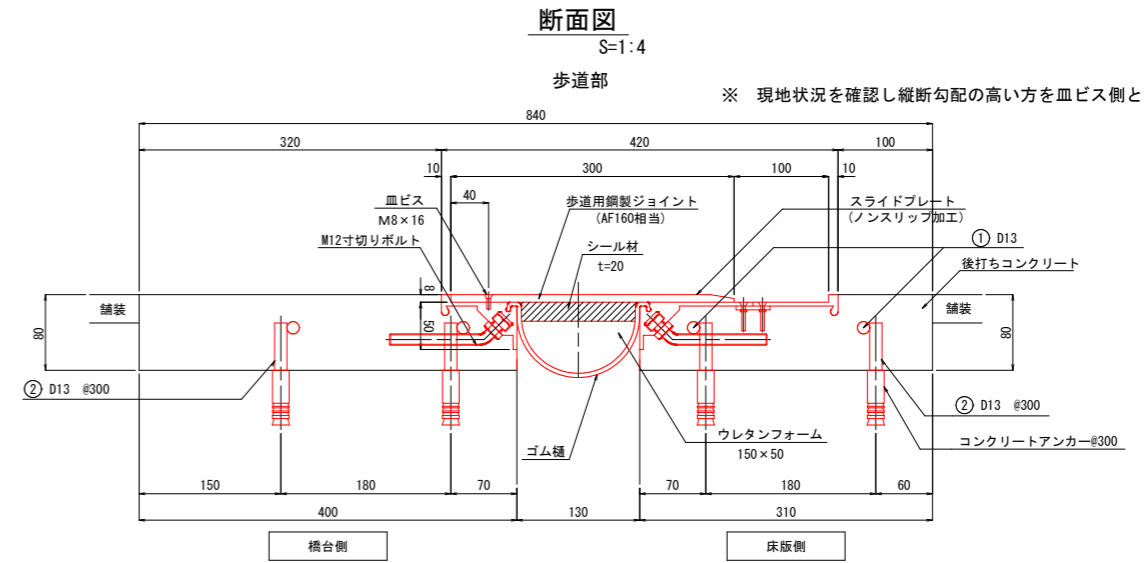
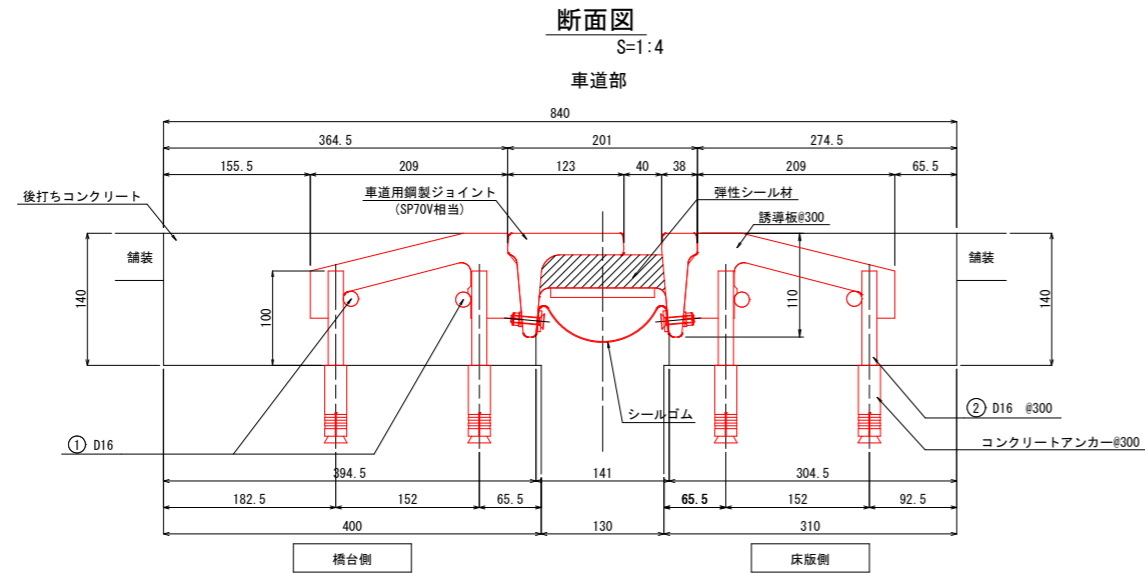
路線名	一般国道180号		
国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)(国補正)			
図名	伸縮装置補修図(その1)		
位置	日野郡日野町中管		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 12 葉中の内 10		
令和 6 年度施行		鳥取県	
西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局			

※コンクリートアンカー位置決定の際は、NTT埋設管に干渉しないよう十分な施工管理を行うこと。
 また、コンクリートアンカーの間隔は300以下とすること。

※A3出力時: 表示縮尺×50%

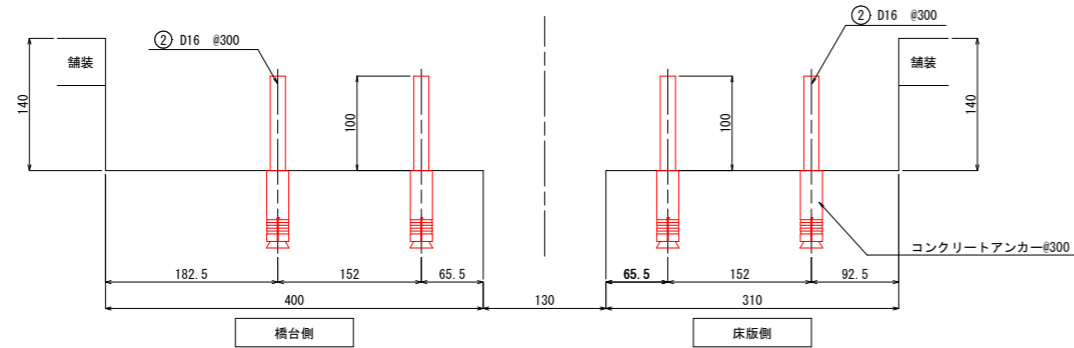
伸縮装置補修図(その2)

(A2伸縮装置)



床版箱抜き及び補強鉄筋②設置図

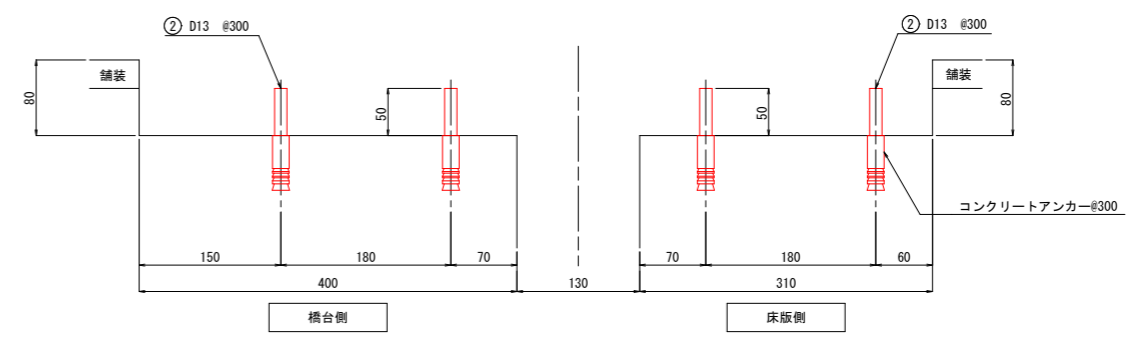
S=1:4



※アンカー施工の際に、既設構造物の鉄筋を切断しないように注意すること。

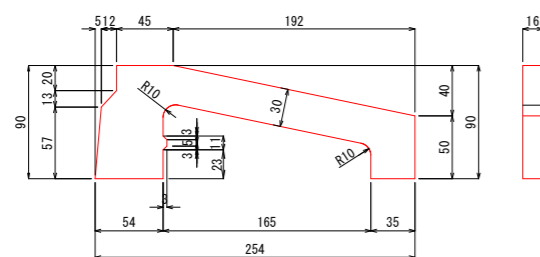
床版箱抜き及び補強鉄筋②設置図

S=1:4



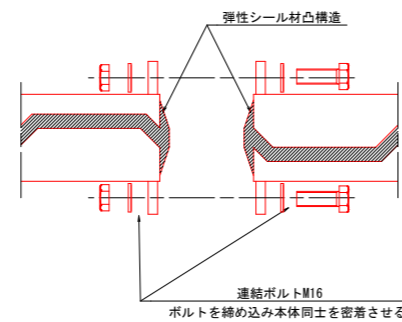
誘導板詳細図

S=1:3



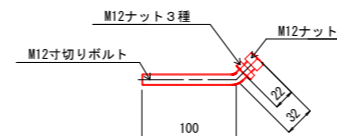
連結部詳細図

S=1:1



M12寸切りボルト

S=1:4



注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状等を確認し、必要に応じて修正を行う事。
 ※歩道内のNT埋設管については、施工時に位置及び深さ等を確認し、埋設管に損傷が生じないよう十分な施工管理を行うこと。
 ※補修工法については、各社さまざまなものがあり、仕様も異なるため、実際に採用する工法に従って、仕様の変更を行うこと。
 ※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可使用時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬期の施工は極力避けること。やむを得ず冬期の施工となる場合は、材料の品質を確保できるよう養生管理等を行うこと。
 ※補修対象外の損傷は図示していない。
 ※橋面防水の施工に際し、伸縮装置の取替えとの取り合い部及び歩道境界ブロックの補修の施工性の関係上、以下の手順で実施すること。
 ① 既設撤去工 (歩道舗装、伸縮装置)
 ② 舗装打換工 (中詰めコンクリート)
 ③ 伸縮装置取替工
 ④ 断面修復工
 ⑤ 橋面防水工
 ⑥ 舗装打換工 (アスファルト舗装)

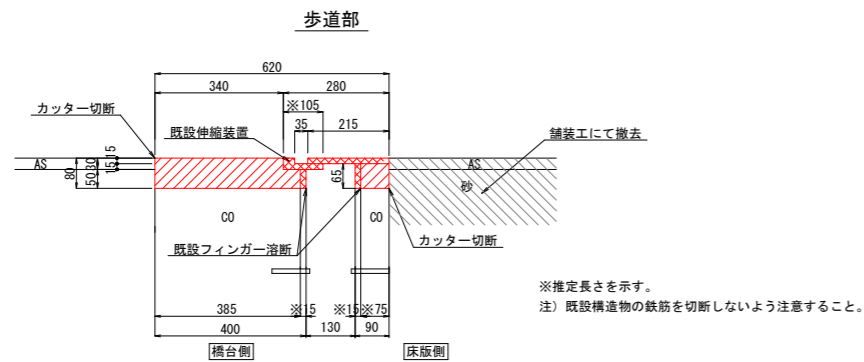
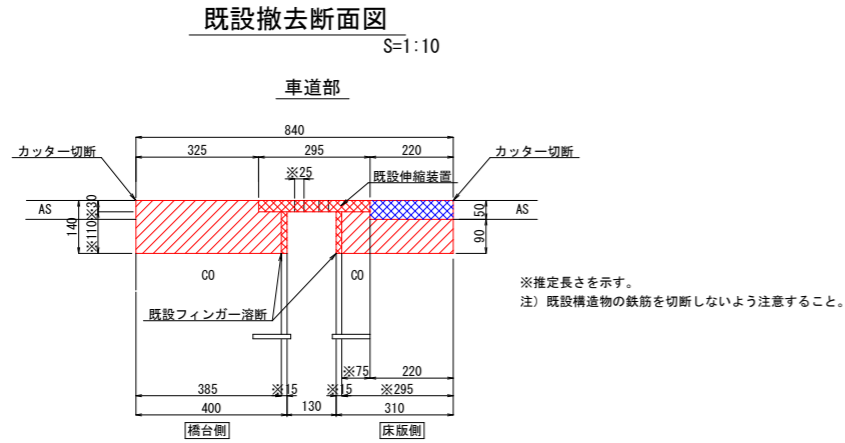
令和6年度 公共 起工
【中管橋】(鳥取県工事)

路線名	一般国道180号		
国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事(補助橋梁補修)(国補正)			
図名	伸縮装置補修図(その2)		
位置	日野郡日野町中管		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 12 葉中の内 11		
令和6年度施行	鳥取県		
西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%

伸縮装置補修図(その3)

(A2伸縮装置)

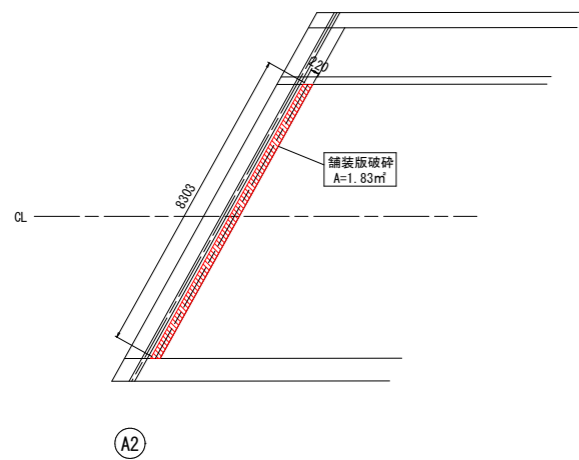


- は、鋼部材の撤去工を示す。
- は、コンクリートの撤去工を示す。
- は、アスファルト舗装の撤去工を示す。

平面図

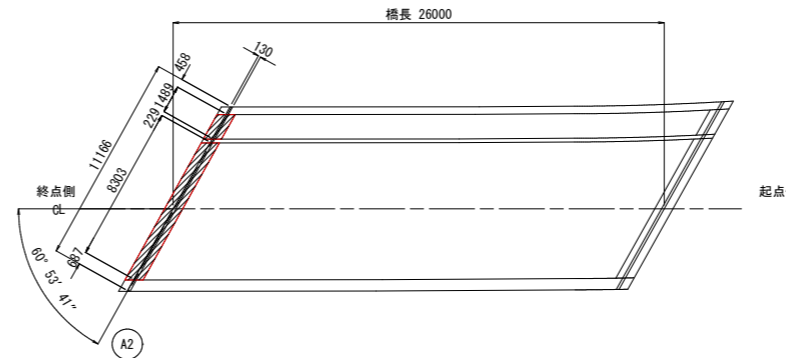
S=1:100

(車道部舗装撤去)



位置図

S=1:200



材料表

品名	仕様・規格	単位	A2		合計	備考
			車道部	歩道部		
鋼製ジョイント補修	車道部 (SP70V相当)	m	8.415	—	8.415	本体、誘導板、シールゴム一式含む
〃	歩道部 (AF160相当) ノンスリップ加工	m	—	1.723	1.723	アンカーボルト、一式含む
弾性シール材	t=20mm	L	—	3.87	3.87	
ウレタンフォーム	150 x 50	m	—	1.49	1.49	
補強鉄筋	1 4 - D16 x 8250	kg	51	—	51	1.56kg/m
	2 112 - D16 x 120	kg	21	—	21	〃
	1 4 - D13 x 1450	kg	—	6	6	0.995kg/m
	2 24 - D13 x 70	kg	—	2	2	〃
コンクリートアンカー	D16	本	112	—	112	
	D13	本	—	24	24	
後打ちコンクリート	超硬コンクリート	m ³	0.76	0.08	0.84	
	シール材	L	2.67	3.11	5.78	t=20mm
地覆・縁石シール工	ウレタンフォーム	m	0.91	0.50	1.41	150x100
		m	—	0.21	0.21	150x290
既設部材撤去	鋼製部材	m ³	0.09	0.01	0.10	
		kg	710	80	790	
	コンクリート	m ³	0.67	0.05	0.72	無筋コンクリート
		kg	1570	120	1690	

注) ※本図面は、既存資料等を基に概略で形状寸法を測定したものであるため、施工時は形状等を確認し、必要に応じて修正を行う事。
 ※歩道内のNTT埋設管については、施工時に位置及び深さを確認し、埋設管に損傷が生じないよう十分な施工管理を行うこと。
 ※補修工法については、各社さまざまなものがあり、仕様も異なるため、実際に採用する工法に従って、仕様の変更を行うこと。
 ※外気温が5℃以下になると、補修材料の凝結硬化・可成時間・強度発現等が著しく損なわれるため、冬の施工は極力避けること。やむを得ず冬の施工となる場合は、材料の品質を確認できるような養生管理等を行うこと。
 ※補修対象外の損傷は図示していない。
 ※橋面防水の施工に際し、伸縮装置の取替えとの取り合い部及び歩車道境界ブロックの補修の施工性の関係上、以下の手順で実施すること。
 ① 既設撤去工 (歩道舗装、伸縮装置)
 ② 舗装打換工 (中詰めコンクリート)
 ③ 伸縮装置取替工
 ④ 断面修復工
 ⑤ 橋面防水工
 ⑥ 舗装打換工 (アスファルト舗装)

令和6年度 **公共** 起工
 【中管橋】(鳥取県工事)

路線名	一般国道180号		
国道180号(新黒坂橋)外橋梁補修工事 (補助橋梁補修)(国補正)			
図名	伸縮装置補修図(その3)		
位置	日野郡日野町中管		
縮尺	図示	単位	MM
図号	全 12 葉中の内 12		
令和 6 年度施行		鳥取県	
西部総合事務所 日野振興センター日野県土整備局			

※A3出力時：表示縮尺×50%